

令和元年 9 月 4 日

長崎リハビリテーション学院

学院長 本川 哲 殿

学校関係者評価委員会

委員長 大野 博海

学校関係者評価委員会報告

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 山下 均 (鈴木病院 リハビリテーション科科长 理学療法士)
- ② 岩永真仁 (南野病院 リハビリテーション科副科長 作業療法士)
- ③ 福田優希 (長崎みなとメディカルセンター市民病院 言語聴覚士)
- ④ 平野英三 (愛野記念病院 事務長代理 理学療法学科 2 期卒業生 元同窓会会長) 副委員長
- ⑤ 赤川義則 (大村市赤佐古町 町内会長)
- ⑥ 永田芳弘 (長崎県立大村高等学校 教頭)
- ⑦ 大野博海 (元県立高等学校校長 前ベルファム校長) 委員長

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第 1 回委員会 令和元年 6 月 17 日 (会場 長崎リハビリテーション学院)
- 第 2 回委員会 令和元年 7 月 22 日 (会場 長崎リハビリテーション学院)
- 第 3 回委員会 令和元年 8 月 5 日 (会場 長崎リハビリテーション学院)

3 学校関係者委員会報告

別紙 1、2 のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標 1. について [重点目標 1. 教育力の強化]

- ・スマホ対応国試対策システム教材の活用は向上している。個々の学習状況を把握し指導につなげている。学習会等の実施による基礎学力の底上げや学習の習慣化により進級率が向上し、中途退学者が減っている。今後はさらに教員研修などを実施し教授力の向上に努めてもらいたい。

2 重点目標 2. について [重点目標 2. 学院運営]

- ・国家試験合格率向上が認知度を上げ、入学者増につながっていくものと思われる。合格率を上げるためには、1・2年生から習慣的な学習への取り組みなども重要である。入学者数は目標を概ね達成しているが、二部募集に課題がある。
- ・県内・近隣の求人数を増やすために、就職説明会の開催などは有効であったようである。学内教育でコミュニケーション力をつけ、施設から求められる専門職の輩出に努めてもらいたい。

2 重点目標 3. について [重点目標 3. 就労環境の改善・向上]

- ・「部署別勤務一覧」「時間外勤務振替簿」の確認を管理職で行い、勤怠管理を把握している。学園就業規則に準じて概ね良好に管理し、就労環境の改善に努めている。

Ⅱ 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

- ・職業実践専門課程の認定に向けて取り組み、平成 31 年 3 月に認定を受けた。引き続き PDCA サイクルに則り、実践してほしい。
- ・来年度の指定規則改正に向け、計画的に教育課程や実習形態の見直しについて作業を進めている。社会人に門戸を広げるために、作業療法学科は専門実践教育指定講座に認定された。優秀な学生確保のために特待生制度を開始した。

2 学校運営

- ・入口「学生募集」、中間「学生教育・指導」、出口「就職」とし、それぞれ数値目標を掲げて取り組んでいる。
- ・学院運営規定に則り、組織的に職務を遂行している。向陽学園本部とは定例会を通じて連携している。
- ・人事考課制度の導入はなされてない。教育機関への導入は慎重に検討して欲しい。

3 教育活動

- ・シラバスで到達レベルを明確にしている。ホスピタリティ論は全学年で講義があるが学年ごとのテーマを決めて取り組んでいる。
- ・授業アンケート結果の非常勤分の有効活用について検討が必要と思われる。
- ・学籍簿はスクールギアで適切に管理されている。
- ・教員の不足については補充予定があるということである。

4 学修成果

- ・国家試験合格率が前年度より低下している。スマホを活用した学習支援やグループ学習の充実などの検討が必要である。
- ・国家試験不合格者は就職内定が取り消しとなることが多い。
- ・コミュニケーション力を育て、施設から求められる療法士を育てて欲しい。
- ・卒業生の社会的評価の把握に努めて欲しい。

5 学生支援

- ・図書館は、二部学生も授業終了後利用できるよう、24時まで開館していることは評価できる。
- ・経済的支援は、学院独自の減免や国からの支援（高等教育支援制度）など順次整備している。
- ・養護教諭や相談室のサポートや教員の連携の成果として中途退学者が減少していると思われる。

6 教育環境

- ・バリアフリー化は概ね整備されている。
- ・防災マニュアルは前年より進み、今年度完成する。安全管理体制は老朽化のため耐震等ハード面に課題がある。

7 学生の募集と受入れ

- ・学生募集は数値目標には若干届かなかったが、前年度より増加している。広報と特待生制度などの新しい制度導入が志願者増につながっているようだ。ただし、二部募集には課題がある。
- ・入学辞退者については授業料を返還し適正に取り扱っている。

8 財 務

- ・財務基盤は、学園全体で実施されているので安定している。
- ・平成30年度より財務情報をホームページ上に公開している。掲載データの表現に課題がある。

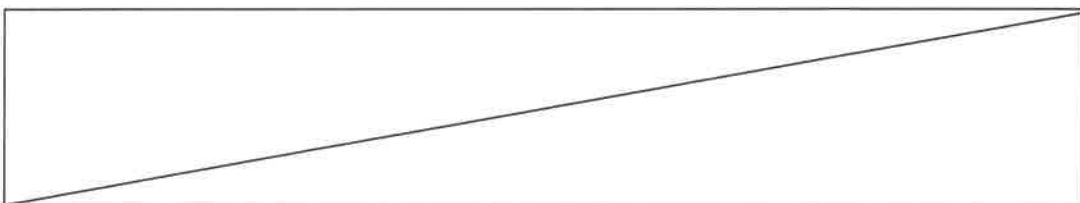
9 法令等の遵守

- ・指定規則等の法令を遵守して運営している。変更は適切な手続きを経て届け出ている。自己評価も毎年実施し、県に報告している。
- ・ハラスメントの学生周知は実習前にクラス単位で行っている。また実習指導者に対しては、指導者会議で講義や会議等を通じて理解を求めている。

10 社会貢献・地域貢献

- ・市民向けの公開講座、市の介護予防教室への教員・学生派遣、施設の開放など、社会に貢献している。
- ・学生ボランティアも積極的に活動している。

11 国際交流 ※学校から必要がある項目として提示された場合



※評語の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組が期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

1) 項目 1：理念・目的・育成人材像

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4	4
2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4	4
3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4	4
4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4	4

2) 項目 2：学校運営

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4	4
2	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4	4
3	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4	4
4	学校運営のための組織を整備しているか	4	4
5	人事・給与に関する制度を整備しているか	3	3
6	意思決定システムを整備しているか	4	4
7	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3	3

3) 項目 3：教育活動

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4	4
2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4	4
3	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4	4
4	教育課程について外部の意見を反映しているか	4	4
5	キャリア教育を実施しているか	4	4
6	授業評価を実施しているか	3	3

7	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3	3
8	各種科目試験は適切に行うことができているか	4	4
9	講義や実習の運営は適切に行うことができているか	4	4
10	学籍管理は適切に行うことができているか	4	4
11	目標とする資格・免許は、教育課程上で明確に位置づけているか	4	4
12	資格・免許取得の指導体制はあるか	4	4
13	資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	3
14	教員の資質向上への取組みを行っているか	4	4
15	教員の組織体制を整備しているか	4	4

4) 項目 4 : 学修成果

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	就職率の向上が図られているか	4	4
2	資格・免許取得率の向上が図られているか	4	4
3	卒業生の社会的評価を把握しているか	4	4

5) 項目 5 : 学生支援

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4	4
2	退学率の低減が図られているか	4	4
3	学生相談に関する体制を整備しているか	4	4
4	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4	4
5	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4	4
6	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4	4
7	保護者との連携体制を構築しているか	4	4
8	卒業生への支援体制を整備しているか	4	4
9	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	4	4
10	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4	4

6) 項目 6 : 教育環境

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4	4
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	4	4

3	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	3
4	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	2	2

7) 項目7：学生の募集と受け入れ

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	4
2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	3	3
3	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4	4
4	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4	4
5	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4	4
6	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	4	4

8) 項目8：財務

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	4	4
2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4	4
3	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4	4
4	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3	3
5	私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4	4
6	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	3	3

9) 項目9：法令等の遵守

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4	4
2	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4	4
3	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4	4
4	自己評価結果を公表しているか	4	4
5	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4	4
6	学校関係者評価結果を公表しているか	4	4
7	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4	4

10) 項目10：社会貢献・地域貢献

	項目	自己評価	学校関係者評価
1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	4
2	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4	4